



## 東京産業保健総合支援センター研修案内(令和3年1月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<https://www.tokyosjohas.go.jp>

### ◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

#### ◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更いたしました。

お1人様、月1回のみのお受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

日 時	テーマ	講 師	単 位	定 員
1月5日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 12月8日(火) 10時～定員に 達し次第受付終了	働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～ ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・更新2	24
1月7日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 12月3日(木) 10時～定員に 達し次第受付終了	産業保健と法～典型的な問題事例と解説～ パーソナリティが組織風土に合わず、ハラスメントを訴えて精神疾患を発症し、退職した労働者の復職を産業医が不可としたというモデル事例を素材に、弁護士が、Q&A方式で、関連する法律知識を説き、予防策について共に考えます。	近畿大学 教授 三柴 文典	生涯・更新2	24
1月8日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 12月4日(金) 10時～定員に 達し次第受付終了	労災補償「制度と現状」 労災補償制度は、業務上の負傷や疾病について、被災労働者や遺族に対して、治療に必要な給付や生活保障などを行うためのものです。 現代においては、脳・心臓疾患(いわゆる過労死)や精神障害、石綿や職業がん等、業務に起因する疾病が多く見られ、こうした疾病の原因を分析し、対策を講じていくことも重要になっています。 この研修では、労災保険給付の種類、業務災害と通勤災害、業務上疾病の内容、労災認定基準など労災補償制度について理解を深めていただこうと思っています。	野村 みどり	生涯・更新2	24
1月14日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 12月10日(木) 10時～定員に 達し次第受付終了	事例検討～産業医としてどう対応するか～ 職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、全体発表を通じて参加者全員で考えていきたいと思います。	内田 和彦	生涯・実地2	24
1月15日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 12月11日(金) 10時～定員に 達し次第受付終了	産業保健活動 産業医としての業務について～実際の産業医業務をどのように進めるか～ 対象として、産業医の実務について解説致します。具体的には、安全衛生計画の立案(評価)や安全衛生委員会の開催(運営)、職場巡視の実施や過重労働による健康障害防止活動の進め方等、産業医の関わる基本的な安全衛生事業について具体的な例を示しながら進めたいと思っています。産業医業務の実際についてご経験の少ない方々を歓迎致します。	角田 透	生涯・専門2	24

<p>1月21日(木)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 12月17日(木) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p><b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b></p> <p>働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。</p> <p>働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります。</p> <p>また、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようなのか考えてみたいと思います。</p>	<p>中山 篤</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>1月22日(金)</p> <p>13:30～16:30</p> <p>申込受付日時 12月18日(金) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p><b>作業環境測定方法</b></p> <p>本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。</p>	<p>市川 英一 岩崎 毅</p>	<p>生涯・実地3</p>	<p>16</p>

◆保健師・看護師研修◆

※単位等の取得はできません。

●保健師・看護師研修の申込受付開始は、すべて**12月21日(月)10時～**です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
1月12日(火) 14:00～16:00	<p><b>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</b></p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっているのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。(研修の内容は前回開催(令和2年10月13日)と同内容です。)(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	廣川 進	単位なし	12
1月13日(水) 14:00～16:00	<p><b>高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～</b></p> <p>職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	荒川 輝雄	単位なし	12
1月18日(月) 14:00～16:00	<p><b>ハラスメント対策のすすめ方</b></p> <p>職場で起こりがちなハラスメントの事例を通して、よりよいハラスメント対策のすすめ方を考える。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	森崎 美奈子	単位なし	12
1月20日(水) 14:00～15:40	<p><b>労働衛生管理の基礎と事例～企業の安全配慮義務違反をリスクと捉えた快適職場の形成について～</b></p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明します。最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	単位なし	10
1月25日(月) 14:00～16:00	<p><b>ストレスチェック制度を実施して～働きやすい職場に向けて／本人の気づきとともに職場環境改善へのスタート～</b></p> <p>ストレスチェックを積み重ねて実施してきておりますが、その効果・活用はいかがでしょうか。気づき、職場の実態など、なかなかその成果がみえにくい状況もありますが、実施者や担当者等の取組み方にも大いに影響されるのではないのでしょうか。効果的な考えなど、活かし方を一緒に検討していきましょう。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	単位なし	12
1月27日(水) 14:00～16:00	<p><b>働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～</b></p> <p>働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆重要◆マスク着用で体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください。</p>	スポーツケア 整体研究所 (株) 小沼 博子	単位なし	12

<p>1月28日(木)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p><b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b></p> <p>働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。</p> <p>働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります。</p> <p>まだ、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>中山 篤</p>	<p>単位なし</p>	<p>12</p>
<p>1月29日(金)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p><b>部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーション</b></p> <p>援助になるかわり方のポイントについて、学べる機会にしたいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>松島 尚子</p>	<p>単位なし</p>	<p>12</p>

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

※単位等の取得はできません。

●人事・労務・衛生管理者研修の申込受付開始は、すべて**12月21日(月)10時～**です。

日時	テーマ	講師	定員
1月12日(火) 14:00～16:00	<p><b>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</b></p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。(研修の内容は前回開催(令和2年10月13日)と同内容です。)(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	廣川 進	12
1月13日(水) 14:00～16:00	<p><b>高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～</b></p> <p>職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	荒川 輝雄	12
1月18日(月) 14:00～16:00	<p><b>ハラスメント対策のすすめ方</b></p> <p>職場で起こりがちなハラスメントの事例を通して、よりよいハラスメント対策のすすめ方を考える。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	森崎 美奈子	12
1月20日(水) 14:00～15:40	<p><b>労働衛生管理の基礎と事例～企業の安全配慮義務違反をリスクと捉えた快適職場の形成について～</b></p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明します。最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	14
1月25日(月) 14:00～16:00	<p><b>ストレスチェック制度を実施して～働きやすい職場に向けて／本人の気づきとともに職場環境改善へのスタート～</b></p> <p>ストレスチェックを積み重ねて実施してきておりますが、その効果・活用はいかがでしょうか。気づき、職場の実態など、なかなかその成果がみえにくい状況もありますが、実施者や担当者等の取り組み方にも大いに影響されるのではないのでしょうか。効果的な考えなど、活かし方を一緒に検討していきましょう。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	12
1月27日(水) 14:00～16:00	<p><b>働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～</b></p> <p>働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動くようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆重要◆マスク着用で体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください。</p>	スポーツケア 整体研究所(株) 小沼 博子	12

<p>1月28日(木)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p><b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b></p> <p>働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。</p> <p>働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります。</p> <p>また、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようなものか考えてみたいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>中山 篤</p>	<p>12</p>
<p>1月29日(金)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p><b>部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーション</b></p> <p>援助になるかわかり方のポイントについて、学べる機会にしたいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>松島 尚子</p>	<p>12</p>